

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-	
		スーパー（経営企画担当）	・8月になれば梅雨も明け、季節品の動きも良くなるので、今よりは回復する。	
		衣料品専門店（統括）	・秋にかけて、祭や行事が多くなるので、祭用品の需要は安定する。その他の実用品はあまり動かない。	
		乗用車販売店（販売担当）	・夏休みに周辺地域のホテル、旅館へ大勢の行楽客が来て、多少なりともお金を落としてくれれば、その影響でやや良くなる。	
			美容室（経営者）	・移転に伴い、大型の設備投資を行う美容院が数件ある。
			住宅販売会社（経営者）	・建築を予定していた客が、ようやく契約の段階に至っているため、今後はやや良くなる。
	変わらない		商店街（代表者）	・競合ショッピングセンターのオープンから時間が経つので、多少客が戻ってくる。年末に北関東最大のショッピングモールが開店する予定であるが、それまでは変わらない。
			百貨店（販売促進担当）	・現在は気温が低く、販売量の動きが悪い。このままの夏が長引くと、秋物への影響が心配である。
			百貨店（店長）	・ここ数か月、それなりに店頭の上は確保しているが、外商が非常に苦戦している。この状況は変わらない。
			スーパー（経営者）	・以前と比べ、売上の伸びが低下しつつあり、来客数もなかなか増加しなくなっている。前年比をクリアするのが厳しい状況は続く。
			スーパー（店長）	・競合店が出ているので来客数は減少しているものの、客単価は上昇している。特に回復する要素もないので、2～3か月後も現状のままで推移する。
			コンビニ（経営者）	・残暑が長引けば上向き可能性はあるが、平年並みであれば前年比程度に戻すことで精一杯である。
			コンビニ（経営者）	・梅雨明けしても、悪かった7月をカバーすることは非常に難しい。2～3か月後も厳しい状況は変わらない。
			家電量販店（店長）	・薄型テレビやパソコンなどの新商品が発売されれば、多少は上向きかもしれないが、総じて変わらない。
			乗用車販売店（経営者）	・客の買い控えから、少ない需要に他社との競い合いが生じ、利益が獲得できなくなる。
			乗用車販売店（従業員）	・モーターショー開催の年であり、各社、ニューモデルを発表するが、客の購買に慎重な姿勢は変わらず、販売台数は計画どおりには伸びない。
			乗用車販売店（営業担当）	・各自動車メーカーから販売されるハイブリッド、エコカーに関心を持つ客から問い合わせがきている。メーカーは売上利益を見込めるが、地方の小さい業者にとっては厳しい状況が続く。
			高級レストラン（店長）	・客の購買意欲は低いまま推移する。
			都市型ホテル（スタッフ）	・宴会部門は辛うじて客数を前年並み近くまで確保したが、宿泊が1か月当たり600～800名マイナスという状況は変わらない。
			旅行代理店（経営者）	・3か月後の申込状況をみると、例年と比べ海外旅行が少なく、一泊バス旅行などの国内にシフトしているため、状況は変わらない。
		旅行代理店（経営者）	・景気が底を打ったという雰囲気はあるが、この先選挙等もあることから、足踏み状態となり、まだ上向きにはならない。	
		タクシー運転手	・タクシーチケットについて、代金回収が遅れたり、回収できないことが多くなってきている。チケットが無効になったという業務連絡も頻繁にある。	
	通信会社（社員）	・携帯電話市場の成熟化に伴い、新規契約数及び純増数の伸びには期待が持てない。1人当たりの通話料も減少傾向にある。		
	観光名所（職員）	・梅雨明けが遅いことなど、観光地全般が活気のない状況であり、今後も旅館、ホテル、レストラン関係の入り込みは例年を下回る。		
	ゴルフ場（副支配人）	・インターネット等を通じた低料金の早めの案内が成功している。前年と比べ、料金に対する反応は敏感になっており、客数をある程度確保しているが、料金を下げているので売上は今一つとなる。		

	美容室（経営者）	・夏の間はカットなどの単価の低い客のみで終始するので、今後も売上は変わらない。	
	その他サービス〔自動車整備業〕（事務長）	・年数がかなり経った車両のエアコン修理が結構あるが、修理前に見積し、説明をすると、修理を取り止め、そのまま持ち帰ってしまう客がほとんどである。厳しい状況は変わらない。	
	設計事務所（所長）	・物件の絶対数が減っているの、仕事量が全体に行き渡らない状況が続く。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・新規開店の店は全くないが、これから店を開めるところがいくつかあり、今後、更に空き店舗が多くなる。	
	一般小売店〔青果〕（店長）	・滅多にないほど梅雨明けが遅れており、冷夏による日照不足で、果物は何を食べてもおいしくない。このような状況では今後も厳しい。	
	スーパー（統括）	・ボーナスの手取りが、社会保険料の負担増により大きく減少したことが消費に与える影響は大きく、財布のひもは固くなる一方である。 ・来客数は増加しているが、絶対客数の増加ではなく、来店頻度の上昇によるものである。商品の仕入れ価格が低下し、店頭小売価格もあわせて下がることも含め、客単価が低下するので、やや悪くなる。	
	衣料品専門店（店長）	・大型ショッピングセンターが車で30分以内の近隣に今月オープンし、影響が出てくるので厳しい。	
	その他専門店〔携帯電話〕（従業員）	・新商品発売の影響や、ボーナス商戦で7月までの販売数は多かったが、今後は落ち込む。	
	一般レストラン（経営者）	・この時期は会社関係の宴会が少なくなるが、今年は前年以上に夜の飲食街を歩く宴会帰りの団体客が少ない。	
	一般レストラン（業務担当）	・宴会場の予約状況が前年を下回っている。	
	タクシー運転手	・名刺のご開帳が終わって下がった売上が、一向に伸びてこない。客の財布のひもは固い。	
悪くなる	ゴルフ場（支配人）	・来場者数の増減が顕著に表れた7月を受けて、客が激減したコースについては、単価を下げた営業に駆け回っている。そのため、料金のばらつきが出てきている。	
	コンビニ（店長）	・客は秋に向けて、お金をあまり使わなくても満足できる物や、安くても品質の良い物に向かっている。	
	衣料品専門店（販売担当）	・現在は8キロ先のショッピングセンターの開店景気に客を奪われている。秋にシネマコンプレックスもオープンし、ファミリー層の客を大幅に奪われる。また、9月に1キロ先の大型店が撤退するので、今後は更に悪くなる。	
	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・周辺で廃業、倒産となる企業が増加しており、何らかの影響が出てくる。	
企業動向関連	良くなる	-	
	やや良くなる	食料品製造業（営業統括）	・夏休みに入り、各メーカーとも工場見学者の増加が見込まれ、活性化が更に期待できる。7月24～26日にワインコンクールが開催されたが、国産メーカーのステータスが更に上がり、品質向上、活性化が進むものと考えられる。
		一般機械器具製造業（生産管理担当）	・油圧機器業界においては、年内はこのペースが続ぎ、更に秋口には増産も見込まれている。関連の他業界でも急激に落ち込む様子はなく、近隣のトラック関連の部品加工工場も大幅な残業で増産に対応している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・見積案件が4～5件あるので、1～2件でも決まれば良くなる。9月以降に動かすという仕事の話が多いので、やや良くなる。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・前半の売上不振から仕入れを差し控えてきた業者にも、新商品の仕入れに多少意欲が出てきている。8月末～9月に秋口の商戦のための仕入れが見込まれる。
		輸送業（営業担当）	・夏休みに入り、アウトドア商品の配送依頼が前年を上回り、好調である。
変わらない	化学工業（総務担当）	・秋の受注がまだ確定していない。あまり期待はできそうにない。今のところ価格の値下げ要請もないので、このまま推移する。	
	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車関連部品及び建設機械関連部品とも、高水準で横ばい状態となる。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・内需が頭打ちで外需が主体であるという数年来の構図、米国景気や中国の需要に左右される基調に変化はない。	
	精密機械器具製造業（経営者）	・依然としてQCD（品質、コスト、納期）が厳しく、苦勞の割に利益が出ない。	
	建設業（経営者）	・受注が増加する見通しはない。	

	金融業（経営企画担当）	・預金の動向は比較的好調であるが、融資は設備投資を中心に、資金需要に乏しく、しばらくの間、まだら模様の景況感が続く。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・受注単価の低下が収益を悪化させており、厳しさは変わらない。
やや悪くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・新店舗のオープンから1年が経過したが、販売は当初の予想を大きく下回っている。知名度の低い商品を売るためには、独自のPR方法が必要なのかもしれない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・取引先4社いずれも新機種開発の話はないので、やや悪くなる。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・依然として経済的な理由から新聞購読を中止する先が多く、全く新聞を読まない世帯は17%にも達している。
	その他サービス業〔放送〕（営業担当）	・商業、流通業中心にスポットコマーシャルが落ち込んでいる。期間も短く、受注額が小規模化してきていることから、7～9月の売上は3%程度減少する見込みである。
悪くなる	建設業（総務担当）	・元請会社との取引が長いので、発注金額の無理な要望にもこたえたいが、今後もこのような状態であれば、勇気を持って断ることもある。
雇用関連	良くなる	-
	やや良くなる	-
	変わらない	
	人材派遣会社（経営者）	・派遣業界はしばらく良好な状態で安定する。中心市街地では、大型店の撤退後、空洞化に歯止めがかからず、この1～2年は駐車場が増加し、空き店舗が目立つようになってきているので、景気が上向きとは言いがたい。
	求人情報誌製作会社（経営者）	・秋にショッピングモールがオープンすれば、かなり人の動きが出てくる。業種によっては周辺に店ができるなどして、良くなるかもしれないが、当面は変わらない。
	求人情報誌製作会社（経営者）	・8月初旬は賞与支給があり、節目の時期なので、退職者が多少出るが、次の就職先を探すのは厳しい状況である。
	職業安定所（職員）	・求職者数の減少、求人の増加は継続している。規模の大小はあるが、企業整備の話が数件出ている。多いところでは、8月末で50人程度、9月の大型百貨店閉鎖で300人以上、11月の別の大型百貨店閉鎖で200人前後の退職者が予定されている。
	職業安定所（職員）	・大手企業の業務縮小に伴い、9月末までに200～300名の人員整理計画があり、引き続き厳しい状況となる。
やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・ビルのメンテナンスに関する派遣を行っているが、複数の取引先において、契約を解除し、同様の業務を行う人材を自ら雇い入れ、経費削減をしようという動きがある。受注は減少している。
	職業安定所（職員）	・今後も規模や業種を問わず、企業整理が予定されており、求職者は増加する。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	・今月行われた来春卒業予定者合同就職面接会では、前年並みの45社が参加したが、求人数は約80%であった。内容も機械、情報など専門性を要する技術職が目立ち、事務職はほとんどないので、厳しい。
悪くなる	-	-